

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2018-09-01

No. 101

株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

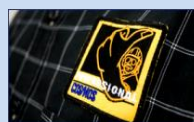
<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
IEC: 規格解説: IEC 61000-3-2 Ed. 5.0 (2018-01) 高調波電流エミッション規格	3
IEC: 新規格リスト	8
ISO: 新規格リスト	10
UNECE: 国際テーマ: 国連規制 No. 10 (電磁両立性) 修正案 06 シリーズへの提案	11
国際テーマ: 欧州 RoHS に関連する腐食の問題	14
国際テーマ: 中国: 新しい中国国家市場監督管理総局(SMRA)	15
国際テーマ: インド: TEC が Nemko インドを承認	15
国際テーマ: サウジ認証スキームに関する最新情報	15
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	16
USA: FCC: KDB: FCC 試験所機器認可システムにアクセスするためのウェブサービス	17
USA: CPSC: FAQ: IEC 60601-1 のリスクマネジメントについて: MET Web site より	18
USA: CPSC: 特定のフタル酸を含む子供向け玩具及び育児用品の禁止: 訂正	19
USA: CPSC: 特定のフタル酸を含む子供向け玩具及び育児用品の禁止 関連決定の改訂を訂正20	20
USA: エネルギースター: 国際エネルギースタープログラム 2018 年度 新着情報	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	21
USA: IEEE: 新規格リスト	23
カナダ: BC-21 — FM 放送帯での IBOC デジタルラジオの試験運用	23
カナダ: 官報通知: 官報通知 SLPB-006-18 - 地対空サービス用スペクトラムのライセンス	23
EU: チュートリアル: EU 単一市場出荷時の製造会社の責任(6/8).....	25
EU: 低電圧指令ガイドラインの 2018 年 8 月版発行: コンビネーション機器の扱い等追加	26
EU: Brexit 交渉: 英国の欧州連合離脱のための第 50 条交渉プロセスと原則: 現況	28
EU: CENELEC: 新規格リスト	30
EU: ETSI: 新規格リスト	32
中国: CQC: 自動車用エアコン・クーラーの認証への新版実施規則および根拠規格の実施	33
中国: CQC: 電気光源など 4 製品の認証規則の改訂に関する通知	33
中国: CQC: 照明機器製品の自主性認証への新版規格 GB/T17743-2017 の実施に関する要求	34
中国: CQC: 開閉器、断路器、断路用開閉器およびヒューズ組み装置製品の強制性認証	34
中国: CQC: 低電圧電気機器用 GC マーク認証の新版実装に関する通知	35
中国: CQC: メタルハライドランプの省エネルギー認証規則のバージョン変更に関する通知	35
中国: 新規格リスト	36
台湾: 検査対象の家庭用電気機器商品の検査規格 CNS 60335-1 (2014 年版) の検査規定	36
台湾: 検査対象のレーザーポインター商品の関連検査規定 の制定通知	37
台湾: 新規格リスト	37
韓国: 電磁両立性試験方法の改正 (案) の意見収束実施	38
韓国: 改正「電気用品と生活用品安全法」: 7 月 1 日施行	38
韓国: 電気用品と生活用品安全管理運用要領の一部改正案 行政予告	39
総務省: 情報通信審議会: UWB 無線システム屋外利用検討作業班: 委員会報告 (案) 公表	40
総務省: 情報通信技術分科会: 第 5 世代移動通信システム (5G) の技術的条件等公表	41
経済産業省: 電気用品安全法 新着情報 H 30/8/8: 対象・非対象関係 (7 品目) を追加 等	41
経済産業省: 日本工業規格 (JIS) を制定・改正しました (平成 30 年 8 月分)	42
NEDO: 再エネを利用した世界最大級の水素エネルギーシステムの建設工事を開始	43
国土交通省: UNECE: かじ取装置、圧縮天然ガス燃料自動車関連国連協定規則を国内に反映	44
ちょっといっぶく〜小クイズコーナー〜中国の新機関について	16
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐久試験についてのご案内	24
社長の独り言	45



IEC: 規格解説: IEC 61000-3-2 Ed. 5.0 (2018-01)高調波電流エミッション規格

IEC 61000-3-2 Ed. 5.0 電磁両立性 (EMC) – Part 3-2: 限度値 – 高調波電流エミッションに対する限度値 (機器入力電流 ≤ 16 A/相) が 2018-01 付で発行。

- 本第 5 版は、2014 年に発行された第 4 版を取り消し、置き換える。本版は技術的な改訂版である。本版には、前版に比し以下の重要な技術的変更が含まれている:
 - 新しいタイプの照明機器を考慮するため、定格電力が 25W 以下の照明機器のエミッション限度値を更新。すべての照明機器に対し、エミッション制限が適用されない 5W の閾値を追加。
 - デジタル負荷側伝送制御デバイス(DLT control device)の試験条件を追加。
 - テレビ受信機の試験条件の更新

等。

UNECE: 国際テーマ: 国連規制 No. 10 (電磁両立性) 修正案 06 シリーズへの提案

本案は、車両規制の整合化世界フォーラム 灯火器及び指示装置作業班第 18 回セッション (Geneva, 23-26 October 2018)で討議される

- CISPR 12 規格の狭帯域限度値と一致させる;
- 経過措置を明確にする;
- 車両の「イミュニティ関連機能」、及び関連する車両テストモードと不合格基準を正確に定義する;

等。

EU: 低電圧指令ガイドラインの 2018 年 8 月版発行: コンビネーション機器の扱い等追加

主な変更点

- § 12 及び § 25 項に記述を追加し、製造者の義務等を明らかにした。§ 36 項が新項で置き換えられた。「§ 37 無線機器と機能する非無線機器/非電気製品を含む電気および電子機器」が追加され、コンビネーション機器の取り扱いが明らかにされた。「付属文書 XI -地理的アプリケーション」項が追加された。総ページ数は、93 から 96 ページに微増した。

EU: Brexit 交渉: 英国の欧州連合離脱のための第 50 条交渉プロセスと原則: 現況

- 英国の整然とした退場を確保することを念頭に交渉し、脱退協定の 80%が合意されている。
- 今後についても、EU の原則を尊重し、新たな野心的なパートナーシップを構築することは可能である。それは、欧州理事会がすでに 3 月に提案したものである。EU は、物品にゼロ関税でかつ量的制限のない自由貿易協定 (FTA) を提示した。EU は、いくつかの例を挙げると、密接な関税や規制の協力、公共調達市場へのアクセスを提案した。

総務省: 情報通信審議会: UWB 無線システム屋外利用検討作業班: 委員会報告 (案) 公表

- UWB 無線システム屋外利用の検討においては、IEEE802.15.4a の 9 チャンネルに焦点をあてて共用検討が行われた。

総務省: 情報通信技術分科会: 第 5 世代移動通信システム (5G) の技術的条件等公表

社長の独り言

平成30年8月16日
濱口 慶一

今年の夏は異常な暑さでしたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？

毎年8月は、終戦の色々な記念行事やドキュメンタリー番組も多く、観ているといろいろ考えさせられます。そんな中、山口県の周防大島で行方不明だった2歳の子供が無事発見されましたが、このことには私達の製品安全関係でも大いに参考出来る部分が有るように思うのです。逢えると信じて山に入り、子供は多分上へ上へと登るだろうと予測しての搜索と、見つけたらタオルでくるんであげたいという想い。通常の搜索よりも早く発見という大きな成果を上げることが出来たことから、自身の固定観念にとらわれず、子供の気持ちで色々と考えて搜索すべきであると教えていただいたように思います。

機器の設計開発に関わる人たちは、開発段階で開発製品の使用環境やその製品の使用者を想定し、製品安全に関して危険が高まる、ありとあらゆる可能性を検討するべきで、検討者が設計のコンセプト（意図）の範囲内で限定した検討しかないと、事故が発生する可能性を多く含んだ機器となります。むしろ上述以外の「想定外」のところで事故が発生しやすいともいえるので、広い視野であらゆる角度から観てリスク分析をしましょう。

IEC 62368-1：オーディオ/ビデオ、情報及び通信技術機器におけるハザードベーススタンダードの第3版がFDISの段階までできています。「IEC 62368-1」は人体への傷害を防ぐ「ハザード・ベース・セーフティ・エンジニアリング（HBSE）」という新しい概念をベースに開発されています。この規格は製品規格であり、製品規格の要求のみの評価で製品の安全性が十分確保できているかどうかの確認をする必要があります。それ故、広い視野で、あらゆる角度から観てのリスク分析が必要になります。

この規格で対象となるAV機器が、例えば病院のロビーのような環境で使用される場合、手術や診察をする場所ではないので、一般家庭での使用環境と同様に考えて該当する要求事項に対応すべきと考えます。一方、流通分野、専門分野、産業分野で使用されるようなプロ用機器 professional equipment を一般人向けの環境で使用することは通常は想定されていないと考えられます。

また、この規格では、子供のアクセスが可能になる機器に関する開口部の評価用試験器具としてチャイルドフィンガーが採用されています。一般人向けの機器で、リスクアセスメントにより子供のアクセスの可能性も考えられる場合は、このチャイルドフィンガーでの評価が必要になります。

本来、一般向けの使用環境で使用することは想定されていないと考えられるプロ用機器については、一般向け使用環境に使用することを想定したリスク分析が必要なのか？ またチャイルドフィンガーを使用した開口部評価試験を行う必要があるのか？ あるいは、使用説明書への注記の記載だけでよいのか？ 子供が取り扱い説明書の文字が読めるのか？ 等、どこまで分析する必要があるのかといった点は不明であり、そのような製品規格に明記されず、評価が困難な部分に関しては、世界各国の認証機関の判断が異なる可能性もあると思いますので、認証機関と製造者のディスカッションや、国際会議などで判断基準が明確にされ、統一した判定が可能となることを望んでいます。

次号は医療機器の認証機関の認証判定員の一人としていろいろと考えるところがあり、申請者の方々ならびに読者の皆様が、製品規格の疑問点や市場での事故例、好ましくないとされる日本国内の慣例などをこの社長の独り言で取り上げていき、可能であればご意見を頂戴できればと思います。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作者者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター **EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2018-09-01 (No. 101)**

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2018 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。